

食欲の秋！到来！

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
89号

2024年
11月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課



ニジマスを食べるコテツ=10月9日



11月に入り秋本番を迎えました。

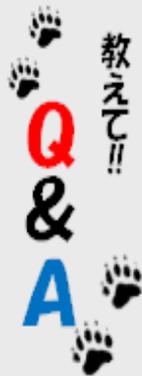
クマ達にとって、この季節は食いだめの時期です。沢山食べて皮下脂肪を蓄え、冬の厳しい寒さに備えます。真冬でも雪の上に平気で寝転んでいるクマ達ですが、寒さに強い秘密の一つがこの皮下脂肪です。

脂肪は防寒だけでなく、冬眠をするのにも重要な役割を果たします。野生のヒグマは12月から3月頃までの冬眠期間中、飲まず食わずで巣穴にこもります。この間、蓄えた脂肪をエネルギーに変えて体を維持します。また、妊娠したメスグマは、冬眠中に出産育児を行います。なので、秋にしっかりと食いだめができないと母乳が十分に出ず、子グマを育てられません。秋の食いだめは、クマ達にとって非常に大事なのです。

クマ牧場でも、秋はクマ達の食欲が増し、夏場に比べて用意するエサの量は2倍以上に増えていきます。普段のエサに加えて、ニジマスやニンジン・ドングリも与えます。クマ達は満腹中枢が壊れたのでは？と思うくらいによく食べます。この時期のクマ達は、夏のスリムな体型から、ふっくらとした丸い体型に変身します。夏にクマ牧場に来たよという方は、今の時期

のまるまるとしたクマ達の姿に驚く
かもしれませんね。

教えて!!



Q クマと人間の恋愛はあるのですか？

A 私はメスの「ラッキー」に恋しています！

ラッキーの推しポイントは

- ① 常に少し空いた口
- ② 起立時の前足の角度
- ③ 小さい体なのに欲張り
- ④ 愛嬌がある の4点です。

また、ラッキーはいつも元気いっぱい放飼場へ出る時も1番最初に走って出てきます。同居している他のクマより小柄ですが、気の強いクマです。そんなラッキーの事が私は大好きです。仕事でミスした時はいつもラッキーを見て心を癒し、元気をもらっています。

ぜひ、皆様もラッキーに会いにきてくださいね！



得意の二足立ちアピール
をするラッキー

どんぐり割引始めました。

今年もどんぐり割引が始まりました。今年も豊作のようで、これまでに沢山のどんぐりを頂いています。本当にありがとうございます。

野生で暮らすヒグマにとって、どんぐりは冬眠前の重要な栄養源です。おもて面の記事にもあるように、秋のクマは冬に備えて体に脂肪を蓄えなければなりません。そのため、秋の主食となるどんぐりの実りが少ないと、危険をおかしても食べ物を求めて人里に出てくるほどです。



どんぐりを食べるホノカ(右)とラッキー(左) = 10月15日

今月の一食

ドングリを
食べる音は

ASMR



この時期になると、入園されるお客様以外にも、「クマさんにあげてください」と、どんぐりを拾い集めて送ってくださる方もいらつしやいます。この企画を通して、クマはどんぐりを食べるという事を知っていたら、クマに対してより興味を持っていただけると思います。

どんぐり割引は10月15日〜11月30日の期間で実施しています。ご持参頂いたどんぐりの重さによって、入園料から最大400円を割引します。



山麓チケット売り場にて受け付け中！

ヒグマの無麻酔採血

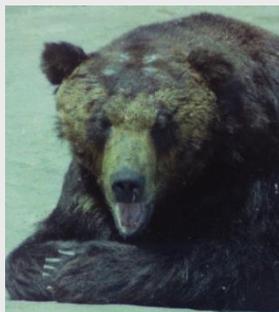
のぼりべつクマ牧場にはマケンコ37歳を筆頭に、25歳人の年齢に換算すると約75歳を超える高齢クマたちも多く暮らしています。年をとると、病気や体に痛みが出やすくなるのは人もクマも変わりません。クマたちは、体調不良を飼育員に言葉では教えてくれないので、健康管理の一つとして血液検査を実施しています。麻酔をかけて採血を行うこともありますが、現在クマ牧場では、クマへの負担が少ない無麻酔での採血ができるように日々練習中です。無麻酔での採血は、クマたちの大好きなハチミツを水で薄めたものを使っていきます。クマは、ハチミツ水が欲しくて前足を伸ばしてくるので、上手に出せたらハチミツ水を沢山与えます。



無麻酔採血実施時の様子

集中して舐めてくれている間に前足の甲に針を刺して採血します。現在、無麻酔採血が成功した個体は、15個体で、全体の飼育頭数の22%です。目標の100%目指してこれからも練習を続けていきます。

九代目



リキ

ボス就任期間

1979年~1980年



「プールにすっぽりカリンさん」

=撮影者 飼育員I

八代目のギンタと兄弟だが、二代目三代目のイシマツ兄弟のような協力関係はなく、それぞれが争ってボスとなった。そのためか、政権は短くして終わった。